

2013年度事業計画書

【期間】2013年4月1日～2014年3月31日

1. 2013年度基本方針

2013年度の事業計画の基本方針と、重点的に取り上げる基幹事業とその項目を提案します。

1. CoCoTのミッションに共感するスタッフと共に、事業展開を図ります。
2. 専門職としてのコミュニティコーディネーター育成のための場を作ります。
3. 地域の主体が地域課題の解決に取り組むための協働のプラットフォーム作りを進めます。
4. 中間支援組織の機能と業務を明確にする調査を手掛けます。

※付記 「地域の主体」の説明

地域に於いて活動するボランティア団体や市民団体、地縁組織や町会・自治会など、医療関係者や介護施設など、大学・研究機関などの多様な組織や人材を指します。

2013年度 基本方針の説明

今年度は、政権や経済情勢の変動、復興支援事業も新たなフェーズに移ってきたことから、その政策や経済情勢の変化に合わせた地域課題に直接的に踏み込んだ課題解決型のビジネスモデルを描き、実証的なアプローチをします。

特に、3.11の震災後2年が過ぎ、支援活動の形も変化していく中で、原発の問題や経済や地域再生を捉え方が重要になってきました。CoCoTが継続して取り組んでいる福島の復興支援活動に象徴されるように、市民活動とその支援を行う中間支援の活動は政治的・思想的な視点を抜きに取り組むことはできません。哲学や思想を持った活動が今まさに必要とされています。

CoCoTは、背筋の伸びたNPOとして、地域に住む人たちの自己決定を支援していく中間支援組織の仕事を課題解決型の社会的事業として取り組んでいきます。常に課題解決の方向性を模索し多様な価値観と柔軟に向き合う姿勢を持つことに注力します。

経営面では、2012年度の収支報告より、NPO会計基準を取り入れました。最新のNPO会計基準を導入することで、松戸市内のNPOに経営モデルを示してその規範となる努力をします。積極的な情報開示は、共感と参画の道筋につながるものです。今回の会計基準のポイントは、①事業費と管理費を区分、②注記と呼ばれる財務諸表の補足説明を付記、③現物寄付やボランティアなどNPOに特有な事象を会計に表現、以上の3点です。

第2号議案

また、組織的には、理事会や事業運営をサポートしていただくためにアドバイザーボードを設置しました。

1. CoCoT は、ミッションに共感するスタッフと共に、活動します。

NPO 法人 CoCoT に所属することに誇りを感じ、中間支援組織としてのミッションに共感する人と共に、活動を作り職場を形成します。雇用関係に規定されない様々な働き方と関わり方を模索します。

2. CoCoT は、コミュニティコーディネーター育成のための場を作ります。

千葉県のコミュニティプランニングコーディネーター育成事業が全国的なレベルで評価されたことを足掛かりに、さらに実践的な専門職養成プログラムとして、ブラッシュアップしていきます。経験や知識を持った人材が NPO の中間支援組織のコーディネーターとして活躍するための専門職としての職域を広げていきます。

3. CoCoT は、地域の主体が地域課題の解決に取り組むための協働のプラットフォーム作りを進めます。

地域に於いて活動するボランティア団体や市民団体、地縁組織や町会・自治会など、医療関係者や介護施設など、大学・研究機関などの多様な組織や人材が緩やかにつながり、それぞれが役割を担って地域課題の解決に取り組んでいくための協働のプラットフォーム作りを進めます。

中間支援組織として、事務局運営の業務を拡大していきます。

4. CoCoT は、中間支援組織の機能と業務を明確にする作業を手掛けます。

公共施設としての「まつど市民活動サポートセンター」の指定管理業務と、CoCoT の本体事業である地域活性化センター松戸の事業概要を整理して、それぞれの事業から中間支援組織の機能と業務を明確にしていく作業を手掛けます。

2. 2013 年度事業計画

今年度から、事業部門と管理部門の2部門に整理し、事業をミッションに沿った基幹4事業態勢を立て、各事業はその部門ごとに位置付けました。

※別紙「平成25年度CoCoT事業一覧」参照

2-1. 事業部門

(1) NPO支援事業

中間支援組織として、NPOの活動支援とともに、NPOと地域の多様な主体を繋いだネットワークの形成と協働を、講座の開催やイベントの実施、相談業務、資金の提供などを通して推進します。

- ①まるごと松戸ファンドの運営
- ②地域活性化センター松戸の運営事業
- ③NPO活動交流推進事業
- ④まつど市民活動サポートセンター管理運営事業

(2) 地域連携事業

資本主義経済の高度な発展の陰に置き去りにしてきた地域課題や社会的弱者の存在を明確に捉えて、地域の多様な主体が、様々な手法で互いに支え合い共に生きる社会の形成を目指します。

- ①医療機関と民間組織が連携した地域見守り体制づくりの支援
- ②課題共有のプラットフォームづくりの準備

(3) 復興支援事業

被災地が新たな価値を創造できる活力と人材を創出できる力を持ち、経済活動に繋がるコミュニティの再生を自分たちの手で担える復興支援活動を目指します。

- ①復興支援活動情報プラットフォームのサポート（「ポートカフェCoCoTの森」運営）
- ②支援者を支援する場づくりのコーディネート（テーマ型サロン「円居の場」の開催）

(4) 人材育成事業部門

地域社会やそこに住む人々が自己決定力をつけ、地域の教育力の再生と、コミュニティの支え手となる人材の育成を目指します。特に、中間支援組織での機能や業務内容に即した専門性のある人材を養成するための講座を開きます。

- ①コーディネーター育成研修事業
- ②コミュニティワーカー養成

2-2. 管理部門

(1) 広報業務

共感者とステイクホルダーの開発を目的とした活動情報提供

- ①HP/ブログ
- ②メルマガ
- ③Facebook
- ④パンフレット

(2) 組織運営

NP0法人CoCoTの組織運営（事務局）

- ①会員拡大
- ②広報進捗管理
- ③総会・理事会
- ④小口管理

(3) 組織経営

NP0法人CoCoTの法人経営（経営会議）

新規雇用者に対して、研鑽の場を積極的に提供し、自主的な学びと気づきにより力量を形成していくことを支援します。（若者チャレンジ奨励金の活用）

松戸市との裁判については、オフィシャルな形で、松戸市民に情報提供できるようにします。

- ①財務
- ②経理
- ③人事
- ④裁判対応